

## 連合高知 第 68 回地方委員会 池澤研吉会長 挨拶（抜粋）

### 《働くことの価値を高め、賃上げを起点に社会・経済を好循環へ転換！》

春季生活闘争において、私たちはこれまで、“物価高に負けない賃上げ”と“今こそ人への投資が最も重要だ”と主張してきた。そのうえで 2023 春季生活闘争では、労使双方が働く者の生活の困難さや人材確保のために賃上げの必要性を認識し、多くの労使において従来以上の水準で賃上げの決着となった。この結果をもって、夏の地域別最低賃金の審議に臨むとともに、官公労で働く仲間の闘争にも繋げたいと考えている。

連合高知の集計では“従来以上の賃上げ”が行われたとし、地元新聞では“県内企業の 9 割が賃上げを実施”したとして報道されたものの、物価上昇率と比較すると、賃上げのレベルは物価上昇を上回るに至っていない。現時点での厳しい状況や、諸課題に対する解決も未だ途中ではあるものの、民間労組を中心とした“従来以上の賃上げ”を単発で終わらせることなく、来年以降も継続した形を目指さなければならない。あらためて、“働くことの価値を高めていく”、“賃上げを起点に社会・経済を好循環に転換していく”その思いを共有しておきたい。

### 《働く者・生活する者に寄り添う議員・首長の誕生へ！》

今年 4 月の第 20 回統一地方選挙は、一言で言うと“私たちの力を出し尽くせたか”という点において、課題の残る結果であったと感じている。今秋には参議院の高知・徳島選挙区から選出されていた議員辞職に伴う補欠選挙が、10 月 5 日公示・22 日投開票の日程で行われる。また、すでに立候補予定者 2 名の推薦を決定している南国市議会議員選挙も同じ 10 月 22 日投開票で行なわれる。加えて、今年 11 月には任期満了に伴う県知事選挙・高知市長選挙が予定されており、さらには流動的ではあるものの、依然として衆議院の解散・総選挙は今秋の可能性が残っている。以上のスケジュールを共有したうえで、どの選挙においても共通して言えることは、私たち働く者・生活する者の思いや立場に寄り添いながら、しっかりと活動いただける議員・首長を誕生させなければならない。